

海老名の民話を元にした、むかしばなしを紹介しします。市の歴史や土地にまつわる伝説などを通して、海老名をより身近に感じていただきたいと思います。お子さんでも読みやすいよう、漢

字にはふりがなをふりました。ぜひ、一緒に楽しみください。なお、市ホームページ内「えびな文化財探求舎」でも、海老名の民話を紹介しています。



海老名むかしばなし

かいげんじ
海源寺のタヌキ

江戸時代の終わりのころの昔のお話です。中新田の海源寺の境内にいつのころからかタヌキが住みつき、毎年、春先のじめじめとした生暖かい風が吹く晩になると化けて出て、人を驚かせていました。

和尚さんが、お寺に集まった人を前に、「今年もまた、タヌキが始めました。どなたか見にきませんか」と誘うのですが、みんな尻込みするばかりです。ところが佐吉という大変好きな強い男が、「わたしが見せてもらいましょう」と、その晩さっそくお寺に向きました。

やがて「カラン！、カラン！」と金棒を引きずるような音をたてて本堂の脇から白衣をまとったお坊様が現れました。お坊様は、肥料などをしまっておく小屋の所までくると、はたと立ち止まり、突然「アハハハハ・・・」と高笑いして、パツと姿を消してしまいました。

このお坊様こそタヌキが化けた姿で、「カラン、カラン」という物音は、火ばしを引きずる音だったそうです。

このころ寺では風呂は外にありません。寝る前に奥さんが火の用心に見回ると、寒い夜にはきまつて釜の中へ四、五匹の子タヌキが入ってぬくもっています。

「さあ、さあ、これを食べよう！と夕飯の残り物にみそ汁をかけてあ

たえることもたびたびでした。和尚さんが故郷の尾張へ旅に出たときのことです。風もないのに「ガサ！ガサ！」と笹の音がするではありませんか。気にもとめずに関所を越えてしばらくいくと、山の中から見慣れたタヌキが二匹道の真ん中に現れました。

「何だお前たちであつたのか。こんな遠くまで送つてくれたのか。ご苦労様よ。済まなかつたなあ。関東はここまです。これから先は関西だ。わしはこれから関西へ行つてくる。道を間違えぬように家へ帰んな」といたわるように諭して帰りました。

海源寺のタヌキが、わざわざ箱根まで見送つてくれたのでした。

(こどもえびなむかしばなし第一集より)

音楽との出会いの場 芸術文化鑑賞会
エビナ・プロムナード・コンサート開催

関文化スポーツ課 ☎(235)4797



海老名市・座間市・綾瀬市文化振興プロジェクトの一環として、神奈川フィルハーモニー管弦楽団のフルオーケストラコンサートを開催します。応募多数の場合は抽選となりますが、落選した場合、当日午前中に行われるゲネプロ（リハーサル）にご案内します（定員あり）。同楽団の応援マスコット、ブルーダルとえび〜にゃのコラボグッズ販売も予定しています。

- ▶日時 9月17日(祝) 14時～16時(13時30分開場)
- ▶会場 文化会館大ホール
- ▶出演 神奈川フィルハーモニー管弦楽団
- ▶対象 海老名市・座間市・綾瀬市に在住・在勤・在学の方(小学生は保護者同伴。未就学児の入場はできません)
- ▶定員 1,000人(応募多数の場合は抽選)
- ▶費用 無料
- ▶曲目 ベートーヴェン/交響曲第5番「運命」ほか

申し込み

往復はがきに、代表者と同伴者(全員分)の氏名・年齢・住所・電話番号・通勤通学先を記入し、文化スポーツ課(〒243-0492勝瀬175-1・文化スポーツ課「エビナ・プロムナード・コンサート係」)へ郵送。8月31日(金)消印有効。1枚のはがきで4人まで応募可。結果は9月上旬に通知します。

海老名市・座間市・綾瀬市文化振興プロジェクト

県央3市の文化振興を図ることを目的に発足したものの。今年度は、神奈川フィルハーモニー管弦楽団のコンサートを3市で開催します。
【今後の予定】 ザマ・プロムナード・コンサート(平成25年2月26日(火)開催)、アヤセ・プロムナード・コンサート(平成25年3月27日(水)開催)

※当事業は、公益財団法人神奈川県市町村振興協会の助成により行っています。

神奈川フィル存続のための
ブルーダル基金へ
ご協力をお願いします